

I 第52週の発生動向 (2015/12/21~12/27)

1. 咽頭結膜熱については、八戸保健所管内で第50週から**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で第50週から**警報**が継続しています。
3. 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で第51週から**注意報**が継続しています。
4. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の285人から254人に減少しましたが、むつ保健所管内では患者報告数が多い状況が続いています。
5. インフルエンザについては、患者報告数が前週の8人から44人に増加しました(患者報告数が増加傾向のため、今週から2015/16シーズンの「V 県内インフルエンザ情報」の掲載を開始します)。

II 第52週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	23	1.77	8	0.53	2	0.13					11	1.83	44	0.68	36
RSウイルス感染症	7	0.88	9	1.00	11	1.10	11	2.20	5	0.83	2	0.50	45	1.07	-26
咽頭結膜熱	3	0.38	1	0.11	29	2.90			2	0.33	1	0.25	36	0.86	-8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	1.88	14	1.56	29	2.90	2	0.40	2	0.33			62	1.48	-24
感染性胃腸炎	88	11.00	48	5.33	16	1.60	9	1.80	19	3.17	74	18.50	254	6.05	-31
水痘	15	1.88	1	0.11	2	0.20			4	0.67	1	0.25	23	0.55	-1
手足口病			4	0.44	4	0.40					2	0.50	10	0.24	-8
伝染性紅斑	3	0.38	1	0.11			4	0.80	2	0.33	12	3.00	22	0.52	0
突発性発しん	3	0.38	1	0.11	3	0.30			5	0.83			12	0.29	-12
百日咳									2	0.33			2	0.05	1
ヘルパンギーナ					2	0.20					1	0.25	3	0.07	-1
流行性耳下腺炎	31	3.88											31	0.74	4
眼科															0
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.09	-3
基幹															0
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎					1	1.00					5	5.00	6	1.00	-2
無菌性髄膜炎															-2
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市2人、弘前6人、八戸4人(2015年計:300人)
- ・アメーバ赤痢(五類全数把握疾患): 五所川原1人(2015年計:12人)
- ・水痘(入院例)(五類全数把握疾患): 弘前1人(2015年計:3人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患): 弘前1人(2015年計:8人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・急性脳症患者(咽頭ぬぐい液、12/1~12/14)・・・HHV6B、HHV7: 八戸1人、ヒトライノウイルスA、HHV6B: 弘前1人

感染症の窓

インフルエンザ(五類定点把握疾患)

2015/16シーズン②

インフルエンザは、日本では例年12月~3月頃に流行します。2015/16シーズン(2015年第36週~2016年第35週)について現在までの発生動向を見ると、全国では2015年第49週までは定点当たり報告数が0.2前後で推移していましたが、それ以降増加傾向を示しています。青森県では、2015年第37週(9/7~9/13)に最初の発生が報告されました。その後しばらく発生は見られませんでした。第47週(11/16~11/22)から再び発生報告が見られ、以後定点当たり報告数は増加傾向です(図)。なお、県内で第52週までに報告されたインフルエンザ患者59人の型別を迅速診断キットで調べた結果、A型が58人、B型が1人でした。

2015/16シーズンはまだ厚生労働省による流行シーズン入りの報道発表はありませんが、全国的に定点当たり報告数が増加してきており、今後の流行に備え、注意が必要な時期となってきました。

予防方法として、流行前のワクチン接種、飛沫感染対策としての咳エチケット・マスクの着用、外出後の手洗い・アルコール製剤による手指衛生、適度な湿度の保持(50~60%)、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みや繁華街への外出を避けることが挙げられます。

インフルエンザに感染した疑いがある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。【参考】厚生労働省HP、国立感染症研究所HP

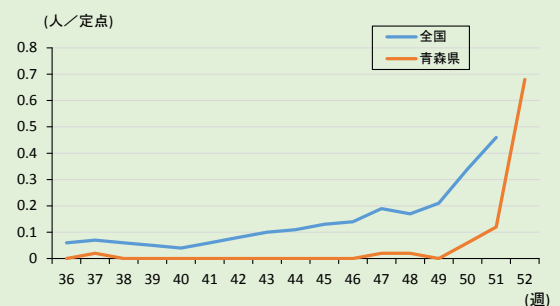


図: 2015/16シーズンにおける定点当たり報告数の推移

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第42週～2015年第52週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
42	H27.10.12 ~ H27.10.18	侵襲性肺炎球菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人			
43	H27.10.19 ~ H27.10.25						
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	アメーバ赤痢1人		クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人			
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	侵襲性肺炎球菌 感染症1人					
46	H27.11.9 ~ H27.11.15	劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人	侵襲性インフルエンザ 菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌 感染症1人				
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人					
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			播種性クリプトコックス 症1人			
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	後天性免疫不全 症候群1人 侵襲性肺炎球菌 感染症1人 梅毒1人					
50	H27.12.7 ~ H27.12.13		侵襲性肺炎球菌 感染症1人			カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人	レジオネラ症1人				
52	H27.12.21 ~ H27.12.27		水痘(入院例)1人 梅毒1人		アメーバ赤痢1人		

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第42週～2015年第52週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
42	H27.10.12 ~ H27.10.18				1	1	
43	H27.10.19 ~ H27.10.25	2					
44	H27.10.26 ~ H27.11.1	1	3	1	1		1
45	H27.11.2 ~ H27.11.8	5	2				
46	H27.11.9 ~ H27.11.15		1	1			1
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	2	2	1			
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			3		1	1
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	1	1	1	1	1	
50	H27.12.7 ~ H27.12.13	2					
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	2	4	3			1
52	H27.12.21 ~ H27.12.27	2	6	4			

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2015年第1週～第50週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキゾコックス症	オウム病	回腸熱	コクシジオイテス症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリス症	マラリア	野兔病	ライム病
累積報告数	22752	6	153	3515	34	31	187	235	22	5	4	3	60	17	358	278	209	2	5	1	40	2	10

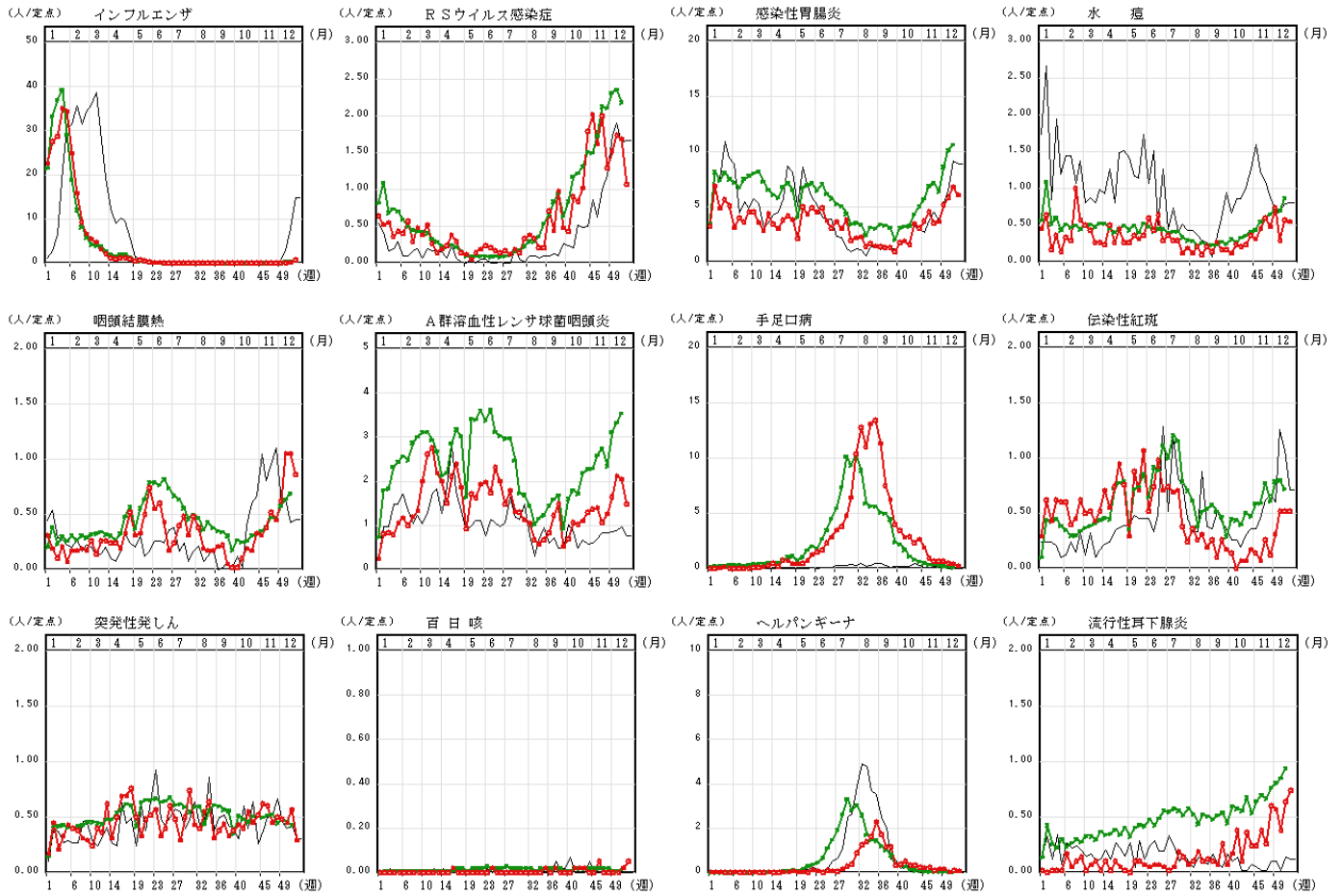
分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	1	1525	31	1031	239	1575	474	15	178	406	1338	75	231	29	2165	290	2477	110	114	60	157	34	33

青森県 (2015年第1週～第52週累計)

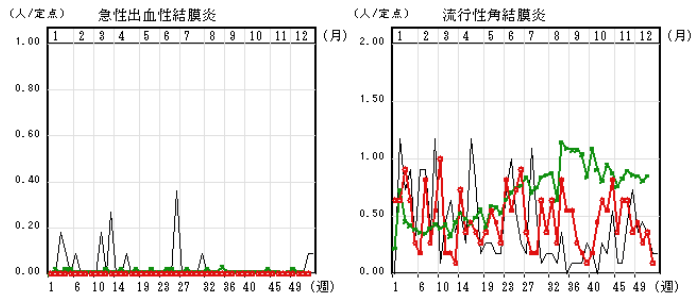
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				
累積報告数	300	47	1	8	3	12	1	17	2	2	3	3	3	3	19	3	8	1	1	1	1	2	

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第52週、但し全国は前週)

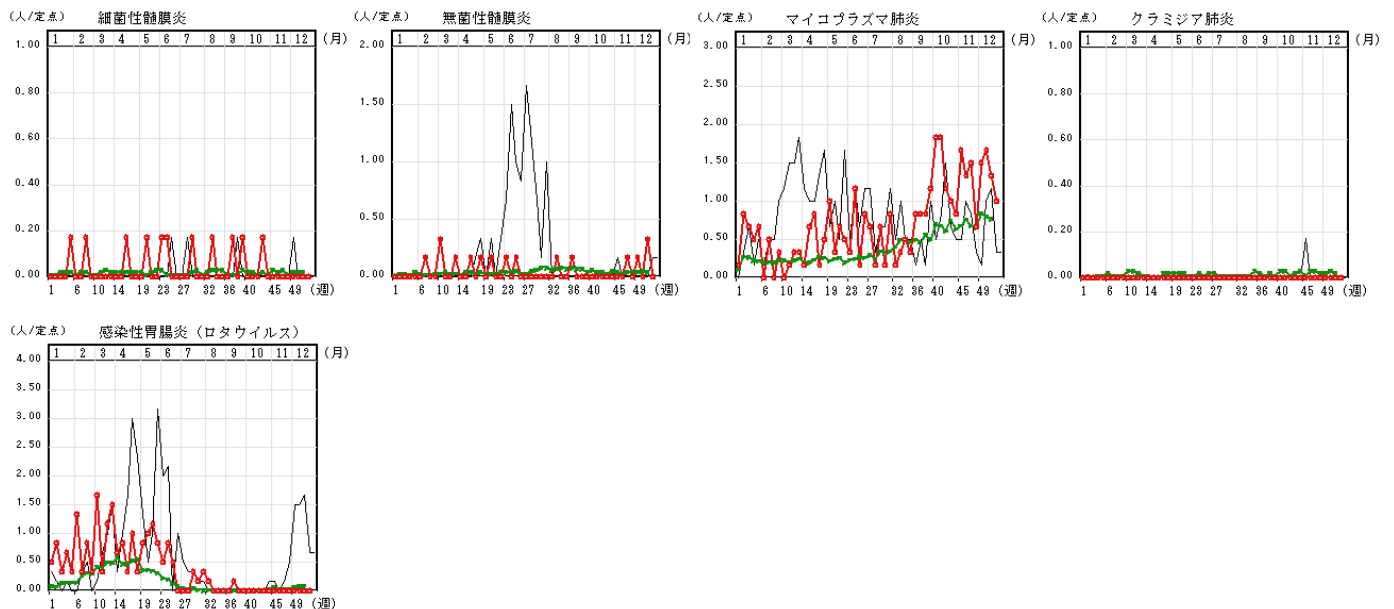
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第52週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第52週、但し全国は前週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第52週は報告がありませんでした。

平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31-35週	36-39週	40-43週	44-48週	49週	50週	51週	52週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	17
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	10	0	27	0	0	312
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	2	1	1	1	0	0	12
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	30	29	23	25	0	0	234
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	2	2	1	2	0	0	31
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	30	39	23	52	0	0	572